

施策評価調書(元年度実績)

				施策コード	I-2-(1)		
政策体系	施策名	みんなで進める健康づくり運動の推進	所管部局名	福祉保健部		長期総合計画頁	29
	政策名	健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～	関係部局名	福祉保健部、教育庁			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	健康づくりのための県民運動の展開	健康を支える社会環境の整備	介護予防、自立支援・重度化防止の 取り組みの推進	データヘルスに基づく糖尿病性腎症など の生活習慣病対策の推進
取組No.	⑤			
取組項目	総合的な自殺対策の推進			

【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125							
i	健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均)(歳)	男性	①	H22	69.85	71.54 (H28)	71.54 (H28)	100%	73.75 (R4)											
		女性	①	H22	73.19	75.38 (H28)	75.38 (H28)	100%	77.03 (R4)											

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	生活習慣病の発症・重症化予防等に加え、地域包括ケアを推進し、高齢者の介護予防に力を入れてきたことなどにより、目標値を達成した。 なお、健康寿命は、国が3年に1度行う国民生活基礎調査に基づく指標であり、R1年度の目標値と実績値は直近のH28年度実績の数値を記載している。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・経済団体や保健医療福祉39団体で構成する「健康寿命日本一おおい創造会議」や、「健康寿命日本一おうえん企業」(98社)によって、県民総ぐるみでの健康づくりを推進した。 ・働く世代の運動習慣定着に向け、健康アプリ「おおいた歩得」の運用を開始し、普及を促進した。(R1:43,288ダウンロード) ・健康寿命延伸推進月間中に、市町村や関連団体と連携して健康づくりイベントを実施し、延べ164,814人が参加した。(前年比109.8%)
②	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯健康県おおいの21推進協力事業所(店)の拡大に取り組むなど、健康づくりを支援する環境の整備を推進した。(R1 食の環境整備部門:516施設、健康経営推進部門:477か所) ・健康寿命推進フォーラムで健康寿命日本一おうえん企業と連携し、がんに関するブースを設置して、治療と仕事の両立支援の普及を促進した。(来場者301名) ・歯磨き指導、食に関する指導、フッ化物活用の三本柱の取り組みにより、児童・生徒の歯と口の健康を促進した。(フッ化物洗口全学年実施小・中学校296校(H30:226校)、小学校5年生の朝食摂取率89.8%(H30:89.4%))
③	<ul style="list-style-type: none"> ・支援マニュアルを活用した研修会や通いの場等への講師派遣を通じ、地域住民が、自助・互助による介護予防に取り組めるよう支援した。 ・リハビリテーション専門職等を派遣し、自立支援型サービスの拡大を図った。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・県民健康意識行動調査で明らかになった地域の健康課題に応じて、市町村や関係機関と連携した健康づくりの取り組みを行った。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員や行政職員対象のメンタルヘルス対策等出前講座(受講者数243名)を開催し、自殺予防施策の推進を図った。 ・学識経験者や医療関係者等が集まる自殺対策連絡協議会を開催し、事業の取組状況の振り返りと今後の方向性を検討した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	みんなで進める健康づくり事業	246.3	30
①	地域スポーツ活動推進事業	88.7	306
②④	地域の健康課題対策推進事業	88.2	30
②	がん対策推進事業	94.1(H30)	30
	受動喫煙防止対策事業	140.2	30
	スクールヘルスアップ事業	41.0	31
	児童・生徒の歯と口の健康促進事業	92.5	256
③	地域介護予防推進事業	173.5	31
⑤	自殺予防対策強化事業	111.9	31

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○健康寿命日本一おおい創造会議(R1.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業と商工団体とが一緒になった健康経営の取り組みが出てきて、新たなステージに入った印象を受けた。 ・県や他のおうえん企業と連携し、自社の強みを活かして県民の健康づくり支援に貢献したい。 	<p>○健康寿命日本一おおい創造会議(R2.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県と協力して受動喫煙対策の普及啓発に取り組み、安心して利用できる飲食店を増やしたい。
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・「おうえん企業」の取り組みや企業・創造会議構成団体との連携、部局間連携事例の創出等、健康づくりのプラットフォームとして創造会議のさらなる機能強化を図る。 ・塩分控えめでも美味しい「うま塩」メニューと野菜をたっぷり使った「もっと野菜」メニューのさらなる普及に加え、両方を兼ね備えた食の環境整備を推進する。 ・肥満対策を強化するため、全体指導による健康意識の改善を引き続き行いながら、家庭と連携して、個に応じた対策を進めていく。 ・健康を支える地域の基盤整備や健康づくりを行う人材の開拓等、保健所を拠点としたこれまでの施策を基に、市町村の健康課題解決に向けた取り組みを支援する。 ・高齢者が通いの場に継続して通うことができる体制整備や地域での社会参加の機運醸成、ICTを活用した自立支援型ケアマネジメントの実施などを通じ、地域の介護予防活動の強化・充実を図るとともに高齢者の自立支援を推進する。 ・「いのちを支える大分県自殺対策計画」に基づき、子ども・若者や労働者・経営者対策等を実施し、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す。